



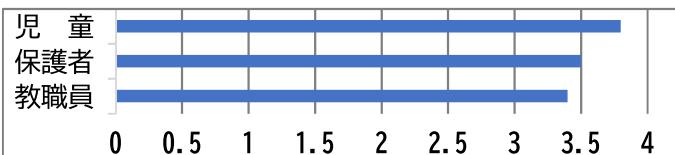
「学校・家庭生活の調査結果について」

校長 ***

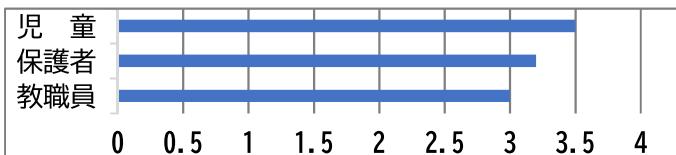
保護者ならびに地域の皆様にご協力いただいた標記の調査結果（前期）を報告します。

そう思う（4点） だいたいそう思う（3点） あまり思わない（2点） そう思わない（1点）

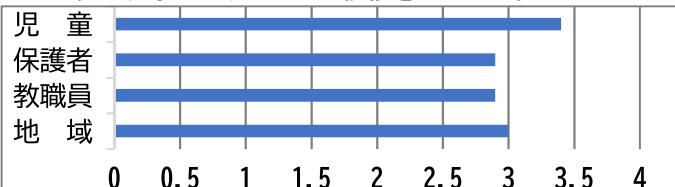
1 子供は、学校の仲間と楽しく学校生活を送っている。



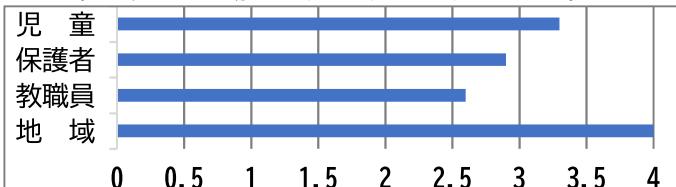
2 子供は、家で学校や友達の話をしている。



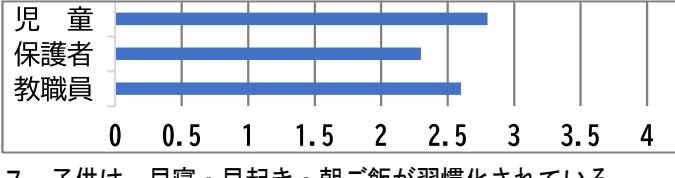
3 子供は、家や地域で進んで挨拶をしている。



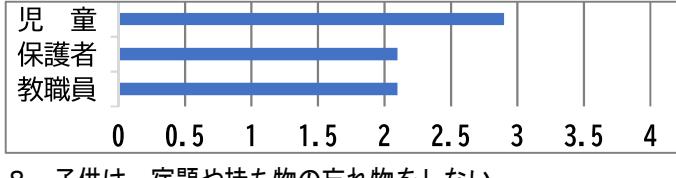
4 子供は、よく運動したり外で遊んだりしている。



5 子供は進んで読書に取り組んでいる。



6 子供は、メディアの使用時間の約束を守っている。



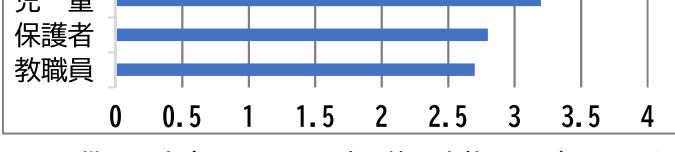
7 子供は、早寝・早起き・朝ご飯が習慣化されている。



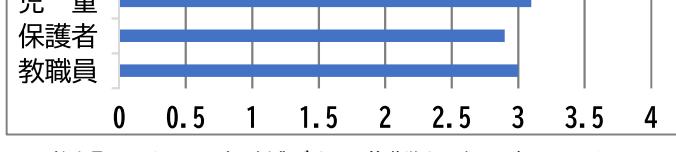
8 子供は、宿題や持ち物の忘れ物をしない。



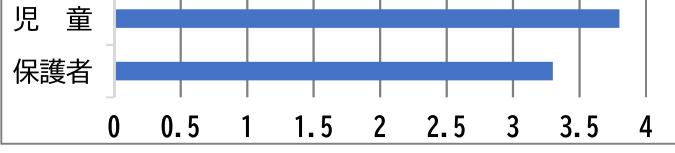
9 子供は、相手や場面に応じた言葉遣いをしている。



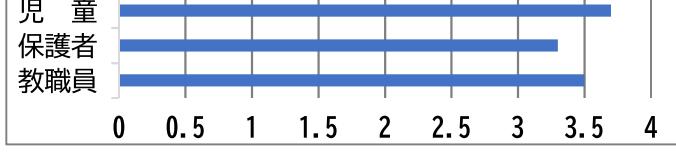
10 子供は家庭学習に意欲的に取り組んでいる。



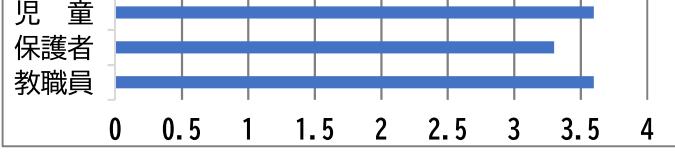
11 子供は、家庭で団らんの時間等、家族と過ごしている。



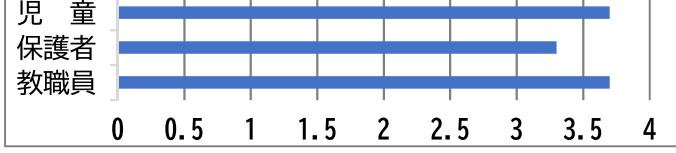
12 教職員は、分かりやすい授業づくりや基礎学力の向上に努めている。



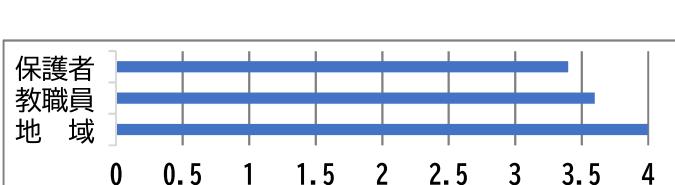
13 教職員は、子供の悩みや相談に対して親身になって応じている。



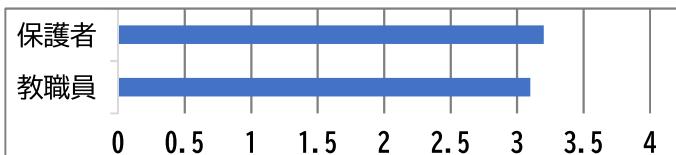
14 教職員は、子供の間違った行動を適切に指導している。



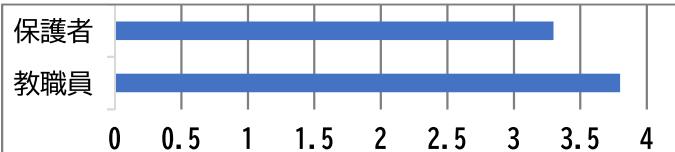
15 教職員は、保護者からの問い合わせや要望等に適切に対応している。



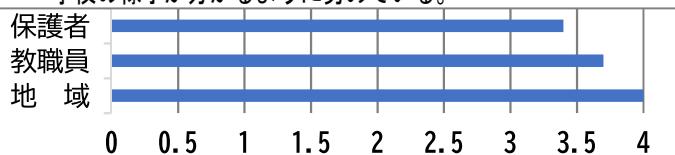
16 学校は、学校の教育目標や育てたい子供像等、学校の教育方針が保護者に伝わるように努めている。



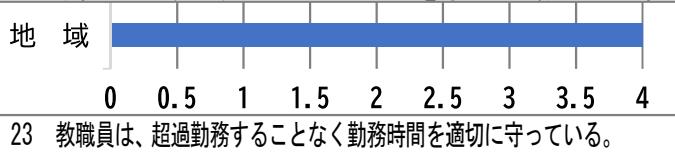
17 学校では、特色ある教育活動が行われている。



19 学校では、学校だより・学年だより・ホームページ等で、学校の様子が分かるように努めている。

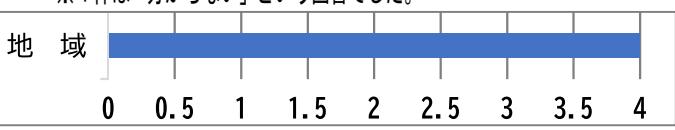


21 子供たちは、地域でマナーやルールを守って生活している。

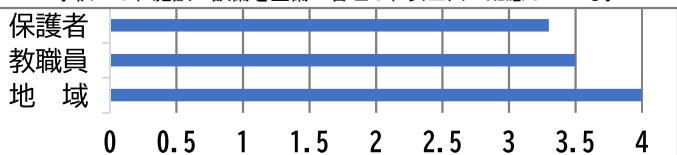


23 教職員は、超過勤務することなく勤務時間を適切に守っている。

※1件は「分からない」という回答でした。



18 学校では、施設・設備を整備・管理し、安全面に配慮している。



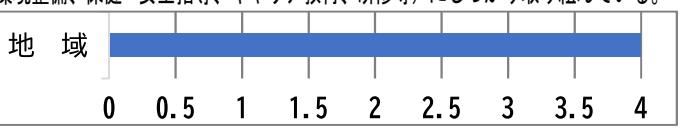
20 学校は、安全パトロール隊や読書ボランティア等地域の方に協力してもらい、地域との協働が進んでいる。



22 教職員は、地域で進んでいさつをしている。



24 教職員は、多岐にわたる業務（学習指導、生徒指導、保護者・地域との連携、環境整備、保健・安全指導、キャリア教育、研修等）にしっかり取り組んでいる。



※ 回答数：児童 150、保護者 71、教職員 11、地域 2

〈子供に関すること〉

- 設問1の数値が高い結果でした。子供たちが安心して楽しく取り組める環境づくりに引き続き取り組んでいきます。また、設問2、11も高い結果でした。学年の実態にもよりますが、学校での話を家庭でする機会があることは、大変うれしいことです。会話の中から心配なことや気になることがありましたら、いつでも学校にご連絡ください。迅速に対応し、安心できる学校、学級づくりにつなげていきます。
- 設問5、設問6は、子供、保護者両方の評価が低い結果となりました。読書に親しむ子を目指し、読書時間の確保や読み聞かせ、委員会の取組により、学校全体としての読書冊数は伸びています。しかし、低い評価となったのは、メディア（タブレット）との使用時間との関連が考えられます。読書よりもタイピングやプログラミング等をしている子供も多くいます。学習のために使用するという目的を明確にし、使用する時間帯について各学級で話し合ったことを基に代表委員会を開き、タブレットの使用に関するルールを決めました。子供たちが「自分たちでルールをつくること・見直すこと」でセルフマネジメントにもつながっていくと考えています。
- 大人よりも子供の評価が高い結果になっているのは、子供の評価が「甘い」のではなく、「自分はしっかりできている」という自己肯定感の表れだととも考えます。できているところや取り組もうとしている姿を認めつつ、励ましていきたいです。

〈教職員・学校に関すること〉

- 設問12、13、14は、子供、保護者の評価は高い結果でした。授業中はもちろん、休み時間等の様子や表情を気にかけ、今後も子供たちに寄り添い、適切な支援や指導ができるよう努めています。
- 学校の取組や子供たちのがんばりが分かるよう、今後とも保護者の方、地域の方への発信を行っていきます。いつも学校の教職員に対して、温かいお言葉や励ましの言葉をありがとうございます。

〈学校運営協議会でいただいたご意見〉

- 子供の自己評価について「できた」「できていない」の結果だけでなく、取り組む姿勢を評価してやりたい。近くの大人が「子供目線」を大切にして「子供なりにやっているぞ」という励ましを重視していってほしい。
- H Pの更新回数を増やすことによって、もっと小学校の取組を発信できる。できる範囲で期待している。
- 日頃の小学校の取組が感じられた。また、保護者の意見では「控え目」なものもあるのではないか。学校には、保護者の本音を聞き出しながら、大人が協力し合って子供の成長を支えていってほしい。

今月号は、「学校だより 9月号」で地域の皆様にご依頼させていただきました「教育活動に関するアンケート」の結果と学校運営協議会（本校の学校運営や教育活動のご意見を協議いただく組織）でいただいたご意見を報告させていただきました。本校では、今後も、学校目標の「心を一つに、いきいきと～かしこく、やさしく、たくましく～」の実現に向けて教職員一同、力を合わせて教育活動の改善を行っていきます。保護者ならびに地域の皆様、お忙しい中アンケートへのご協力、ありがとうございました。



【お詫び】紙面の関係で、今月は“～南部っ子のがんばり紹介～”と“12月の学校生活（活動写真等）”をお休みします。次号以降に紹介させていただきます。